

朽木陣屋(朽木谷城, 朽木城, 朽木館, 朽木屋敷)(県史跡)(高島市朽木野尻)

朽木藩(くつきはん)とは、近江国高島郡(その後の滋賀県高島郡朽木村、現在の高島市朽木)に存在した藩。藩庁は朽木谷城(朽木陣屋)

藩史

朽木氏は朽木谷城を本拠として代々室町幕府奉公衆を務めた。朽木元綱も足利義輝・義昭に仕え、外祖父に公卿飛鳥井雅綱を持つなど名門の血を継いだ。

織田信長が浅井長政の裏切りで危機に陥ったときに京都への脱出を助け、その後、織田信長・豊臣秀吉に仕えて2万石を有した。

元綱は関ヶ原の戦いでは当初は西軍につくが、主戦場で小早川秀秋に同調して東軍に寝返る。だが、徳川家康はその挙動に不信感を抱き本領の近江朽木は安堵したもの、その総石高は9550石と減封され、大名の家格ではなくなった。その後、朽木氏は交代寄合として遇されて、独自の陣屋を持つことを認められて大名に準じる扱いを受けた。元綱没後、長男宣綱が6470石を与えられ、残りは第2人に分知された。

なお、交代寄合としての宗家(朽木宣綱の子孫)のほかに、宣綱の末弟の植綱の子孫が治めた土浦藩や福知山藩などを指して「朽木藩」と呼ぶ例もある。

Wikipediaによる

関ヶ原の戦い以後、徳川幕府の譜代大名格の待遇を受けた朽木氏が領地内に設けた館舎で、当時は9万3000平方メートルの敷地に本丸・二の丸・三の丸をはじめ、御殿・侍所・剣術道場・馬場・倉庫など戦陣拠点としての諸施設が建っていたといわれています。残念ながら、明治維新とともにすべての建物が取り壊され、現在は、堀・土居・石垣の一部と2カ所の井戸がわずかに残っているだけです。しかし、近年になって、植物・樹木が植えられ、わら葺きの民家が移築されて史跡公園となっています。

びわ湖高島観光協会による

